国土交通省 Ministry of Land,Infrastructure and Transport

Tel.03－5253－8111(代)　【URL】http://www.mlit.go.jp/

○平成14年度チャイルドシートアセスメントを公表します

1.チャイルドシートアセスメントについて

国土交通省は、自動車事故対策センターの協力の下、チャイルドシートの安全性能比較試験を実施しましたので、その結果を公表します。チャイルドシートアセスメントの目的は、信頼できる安全性能評価を公表して、より安全な製品を選択しやすい環境を整えるとともに、製作者等によるより安全な製品の開発を促すことによって、安全なチャイルドシートの普及を促進しようとするものです。

チャイルドシートアセスメントでは、安全規制基準を超える高い安全性能を評価する前面衝突試験と誤使用の防止対策を評価する使用性評価試験を実施しています。

前面衝突試験の評価は、安全性能が高い順に、「優」、「良」、「普通」、「推奨せず」の4段階で表示しています。また、使用性評価試験の評価は、チャイルドシートの使用実態を反映した5つの評価項目について専門家が判定を行い、レーダーチャートで表示しています。

2.チャイルドシートアセスメントの結果について

本年度は、販売実績が多いもののうち、昨年度実施したものを除く13製品（乳児用4製品、乳・幼児兼用5製品（うちベッド型兼用1製品）、幼児用4製品）についてアセスメントを実施しました。

(1)前面衝突試験結果

乳児用9製品の前面衝突試験の評価結果は、「優」4製品、「良」3製品、「普通」2製品で、「推奨せず」となった製品はありませんでした。なお、このうち1製品はベッド型による評価も行っており、その結果は「良」でした。

幼児用9製品の前面衝突試験の評価結果は、「良」が8製品、「普通」が1製品で、「推奨せず」となった製品はありませんでした。

(2)使用性評価試験結果

使用性評価試験の評価（各項目5点満点）に関する各項目ごとの平均については、取扱説明書等は3．7点、本体表示は3．9点、本体機構は3．6点、取付性は3．9点、装着性は3．8点となり、昨年度に比較し全体に評価が向上しており、特に本体機構及び装着性の評価が大きく向上しています。

3.その他

チャイルドシートアセスメントの結果は、ホームページ（国土交通省、自動車事故対策センター）に全文を掲載するとともに、地方運輸局、運輸支局等と自動車事故対策センターの支所等においてパンフレットを配布します。

詳細はwebページhttp://www.mlit.go.jp/kisha/kisha03/09/090225_.htmlをご覧ください.

問合せ先：自動車交通局技術安全部審査課

○二輪車へのETC導入について

試行運用を2003年に実施

＜試行運用方式＞

現行ETCを活用したノンストップ方式

非接触型ICカードを用いたタッチ・アンド・ゴー方式

※（社）日本自動車工業会二輪車特別委員会の推薦等を通じ、モニター（1,000台程度を想定）を選定し、試作品を無償貸与

※アンケート調査により利用の状況及び走行の安全性等を検証

＜今後の調整事項＞

警察庁、関係公団と試行運用の具体的なエリア、運用方法について調整

＜実施スケジュール＞

2003年3月中　　モニタ選定

5月(目標)　ノンストップ方式の試行運用開始

8月(目標)　タッチ・アンド・ゴー方式の試行運用開始

10月(目標)　基本方式の選定

2004年　　できるだけ早期に二輪車ETCを実用化

詳細はwebページhttp://www.mlit.go.jp/kisha/kisha03/06/060228_.htmlをご覧ください.

問合せ先：道路局有料道路課